

紋別中学校

特色ある教育～地域の人材を活用する

「最近、中学校面白いことやってるね」と地域の声を聞きます。本年度から1年生は地引網体験、カラフトマスそとと鴻之舞鮎山跡の見学、砂金堀り体験を実施しています。

テーマは「紋別ってすごい～藻籠川を中心とした自然と人とのつながり」です。道立オホーツク流水科学センターや地域住民と協力した上で、紋別の自然や遺産を教材として活用させていただいています。

2年生は、キャリア教育の一環として市内の企業や商店、官公署を訪問し、「働くこと」と「学ぶこと」を関係づけながら、子どもたちに「生きること」の尊さを実感させるべく職場体験学習を実施しています。

3年生は修学旅行で、道央圏の大学や専門学校などを訪問し、より現実的な進路を模索する体験、社会福祉協議会の協力のもと、高齢者疑似体験を実施しました。

このような体験活動は、ふるさとに誇りを持ち、

人と人とのつながりを考え、夢や希望にチャレンジする心を育てる大切な学習です。

子どもたちにとって、家庭や学校以外の地域との交流、自然や社会における体験活動は、他者との直接的な関わりといった点で極めて重要です。学校は、

家庭はもとより地域との連携を深め、地域の人材活用やネットワーク資源を発掘し、子どもたちのニーズに応じていきたいと考えています。今後ともよろしく願いします。



さて、本校の特色ある教育活動の一端を、ご紹介させていただきました。子どもたちのこのような経験の積み重ねを大切に考え、教科の中でその学びを生かしていきたいです。

学校の教育活動に対しまして、その趣旨にご賛同いただき、ご支援を賜りました関係者の方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。学校の挑戦は、これからも続きます。

紋別養護学校

平成22年度学芸会

「学芸会だよ！全員集合！！」のテーマで、11月13日(土)に学芸会が行われました。小学部はむかし話の「ももたろう」、中学部は児童文学の「モモと時間泥棒」、高等部は絵本「はらぺこあおむし」をモチーフにした読み聞かせを行い、一人一人が「できるようになったこと」や「得意なこと」をステージで発表しました。



交流学习・小学部

長い期間に渡って交流を重ねてきた、沼の上小学校との最後の交流学习が11月下旬に行われました。

校内を案内したり一緒にゲームをしたりす



るなどの交流を通して、本校の子どもたちは、同年代の子どものコミュニケーションなど、多くのことを学ぶことができました。仲良く交流する当日の様子が本校ホームページ(<http://www.monryo.hokkaido-c.ed.jp/>)に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

4校交流クリスマス会・中学部

中学部は現在14名の生徒が在籍しています。12月には市内中学校の特別支援学級との交流クリスマス会がありました。

当日は、各校が4つのグループに分かれ、ボウリングでの対抗戦や会食・ゲーム・プレゼント交換などをして交流を深めました。春には交流遠足を実施し、久しぶりの再会でしたが笑顔いっぱい活動し、楽しく有意義なひとときとなりました。

調理学習・高等部

高等部では先日、「秋の味覚」をテーマに栗ご飯や大学芋、キノコのハム巻きなど旬の食材を使っでの調理学習を行いました。一生懸命作った料理は、どれもおいしかったようで、おかわりが続出！今年度の調理学習は、残りあと一回ですが、今まで学んだことを生かし、またおいし～い顔を見せてほしいと思います。

